

現況検査により認められる状況の記録

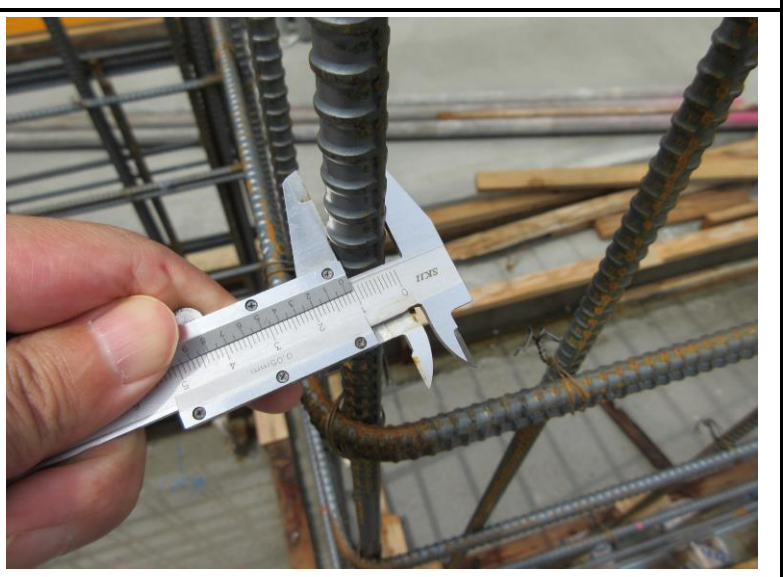
令和5年6月28日	
NO	31
場所	雑壁 (MB部)
部位	W1 2 (非耐力壁)
計画通りに配筋組 (D10@200mmシングル: 縦横共) が行われていることを確認。	




令和5年6月28日	
NO	32
場所	雑壁 (MB部)
部位	W1 2 (非耐力壁)
同上。	

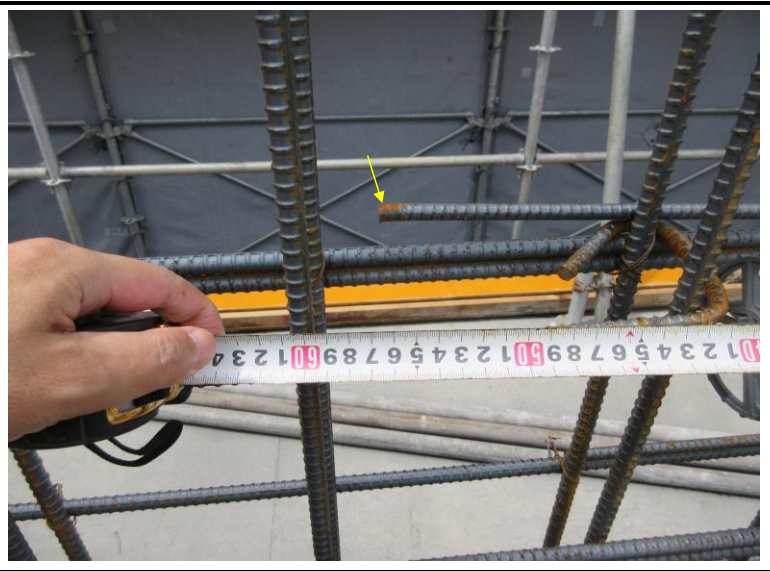



令和5年6月28日	
NO	33
場所	雑壁 (MB部)
部位	W1 2 (非耐力壁)
壁端部補強筋 (1-D13) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	

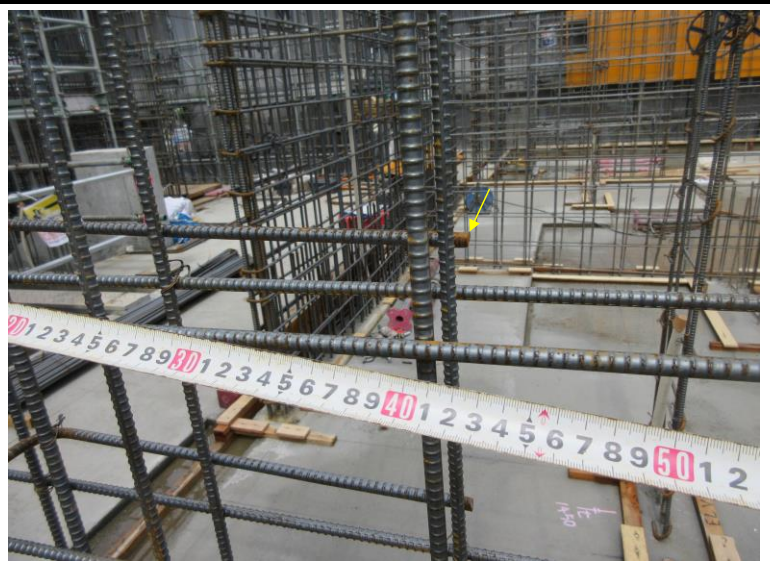



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月28日	
NO	34
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
AY2通りのW18Aへの定着 (L型交差部) は、計画通りの定着長さ (L2: D10×35=350mm以上) が確保されていることを確認。	

令和5年6月28日	
NO	35
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
AX5通りのW18への定着 (T型交差部) は、計画通りの定着長さ (L2: D10×35=350mm以上) が確保されていることを確認。	

令和5年6月28日	
NO	36
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
スリーブ貫通部廻りには、鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されていることを確認。	

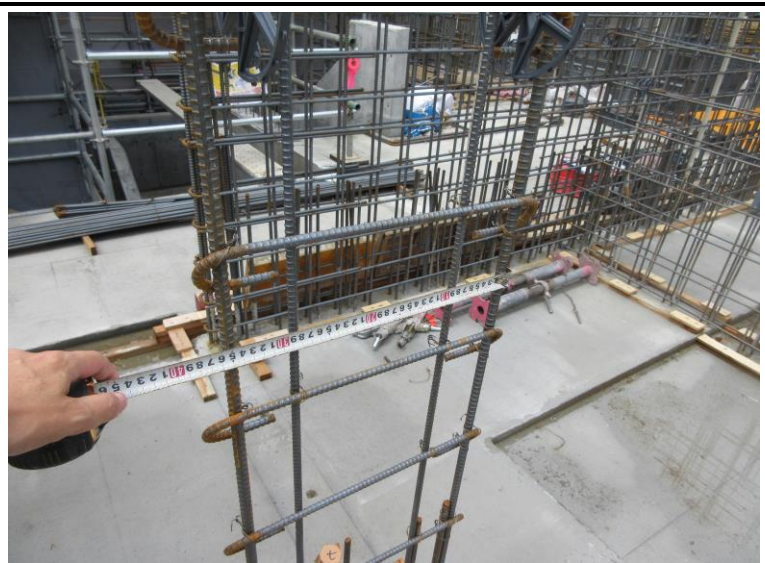



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月28日	
NO	37
場所	雑壁 (MB部)
部位	W1 2 (非耐力壁)
同上。	




令和5年6月28日	
NO	38
場所	雑壁
部位	W1 5 (非耐力壁)
計画通りに配筋組 (D10@200mmシングル:縦横共) が行われていることを確認。(横筋端部は180° フック付)	

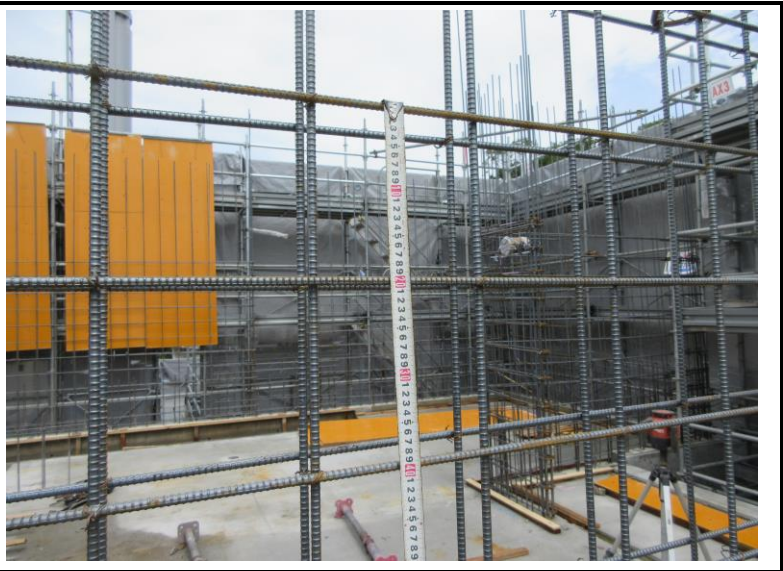



令和5年6月28日	
NO	39
場所	雑壁
部位	W1 5 (非耐力壁)
同上。	

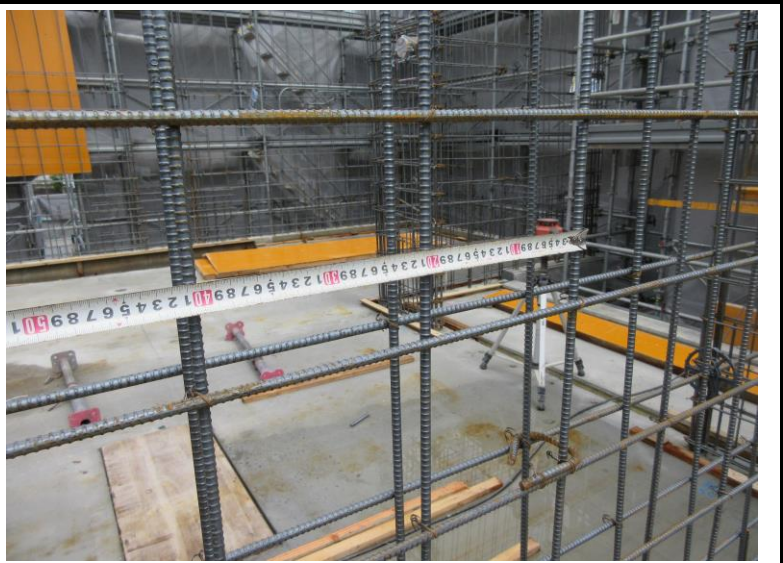



現況検査により認められる状況の記録

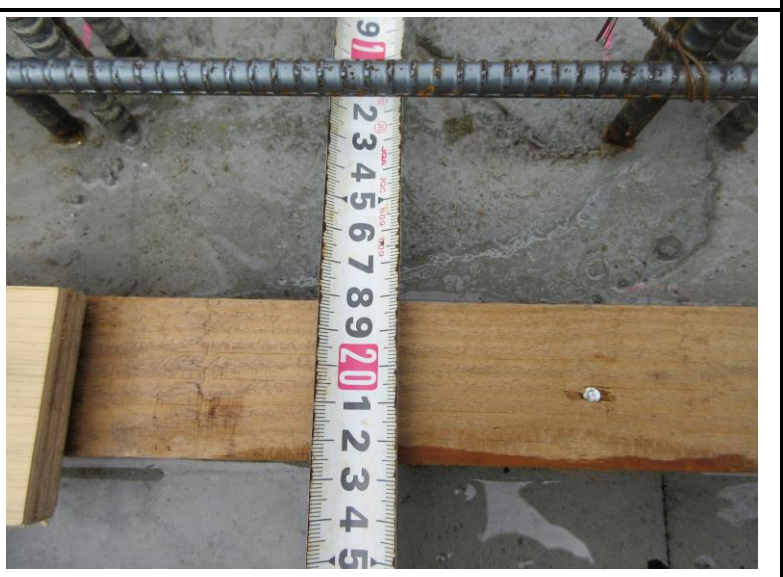
令和5年6月28日	
NO	40
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組（横筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。	

令和5年6月28日	
NO	41
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組（縦筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。（縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	





令和5年6月28日	
NO	42
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
壁厚さ（180mm：界壁部分である為、増し打ちは無し）が計画通りであることを確認。	





現況検査により認められる状況の記録

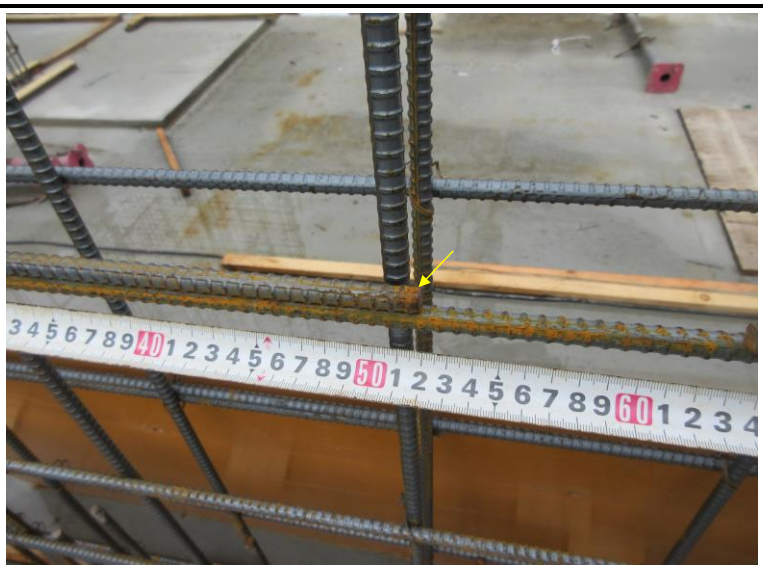
令和5年6月28日	
NO	43
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
鉄筋かぶり厚さ (30mm以上) が確保されていることを確認。	




令和5年6月28日	
NO	44
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
壁立上がり筋との定着長さ (L1 : D10×40 = 400mm以上) が確保されていることを確認。	



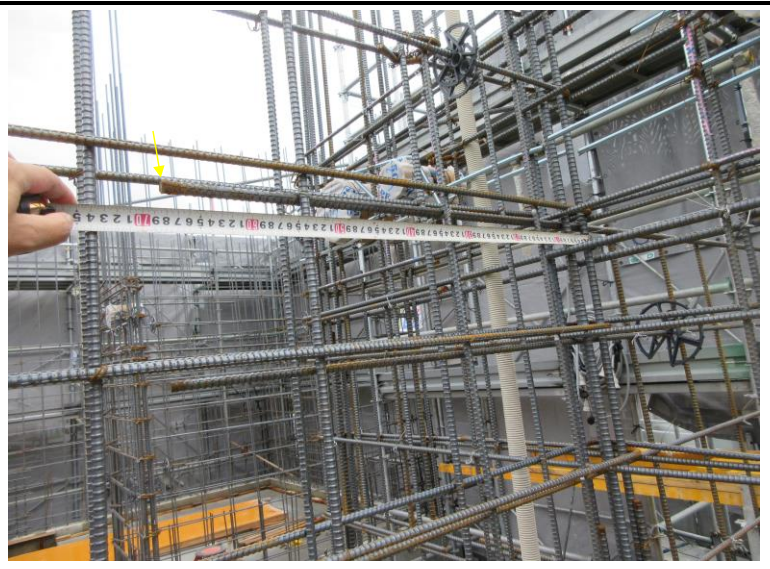

令和5年6月28日	
NO	45
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
壁中間部の横筋 (配力筋) の重ね継手長さ (L1 : D10×40 = 400mm以上) が十分確保されていることを確認。	

現況検査により認められる状況の記録

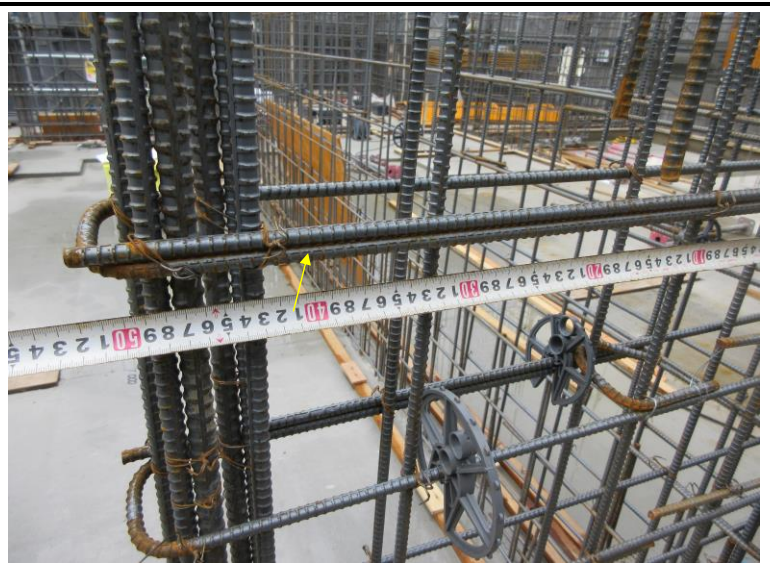
令和5年6月28日	
NO	46
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8

バルコニー手すり壁の上端筋 (D13) の定着長さ (L1 : D13×40=520mm) が確保されていることを確認。


令和5年6月28日	
NO	47
場所	A Y 4 通り
部位	W 1 8

壁端部が適切 (交差部を除きL1 : D10×40=400mm以上の重ね継手) に閉塞されていることを確認。

令和5年6月28日	
NO	48
場所	A Y 4 通り
部位	W 1 8


壁厚さ (180mm+20mm : 外壁部分である為、外壁側は20mmの増し打ち) が計画通りであることを確認。また、鉄筋かぶり厚さ (30mm以上) が確保されることを確認。

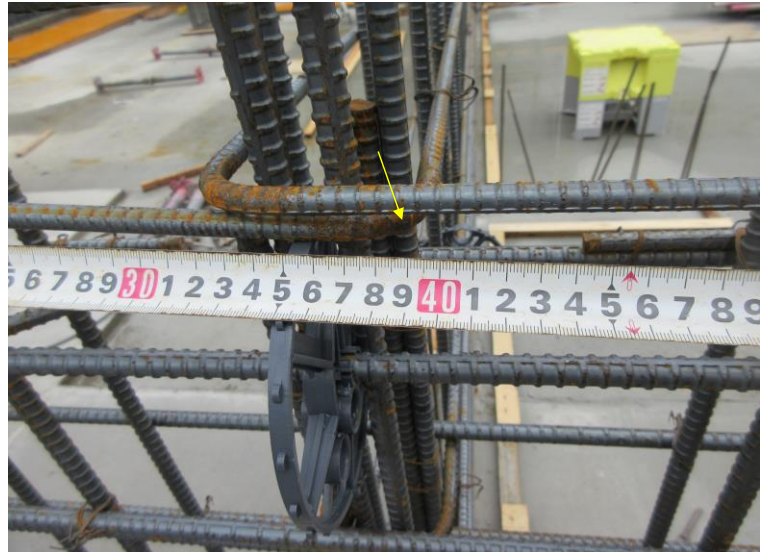



現況検査により認められる状況の記録

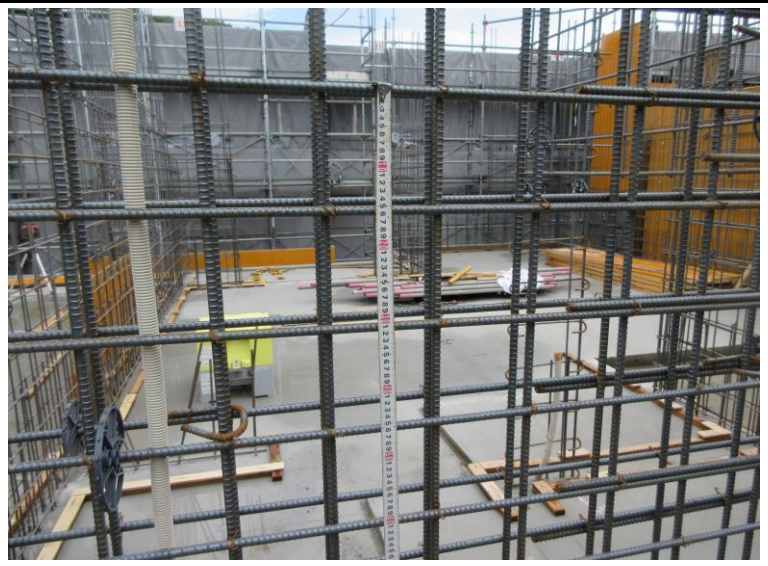
令和5年6月28日	
NO	49
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
A Y 2 通りの W 1 8 B への定着 (T 型交差部) は、計画通りの定着長さ (L2 : D10 × 35 = 350mm 以上) が確保されていることを確認。	
	



令和5年6月28日	
NO	50
場所	A X 4 通り
部位	W 1 8
同上。	
	


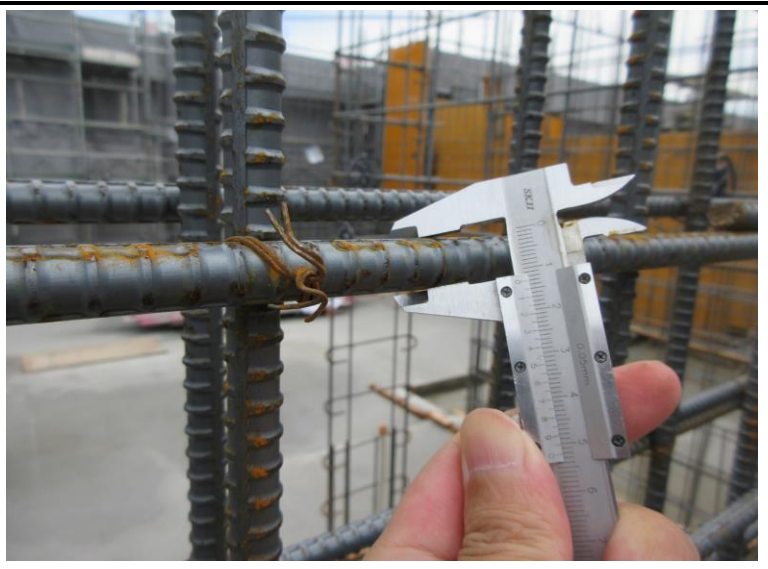


令和5年6月28日	
NO	51
場所	A Y 2 通り
部位	W 1 8 B
計画通りに配筋組 (横筋 : D13 @ 150mm ダブル) が行われていることを確認。	
	




現況検査により認められる状況の記録

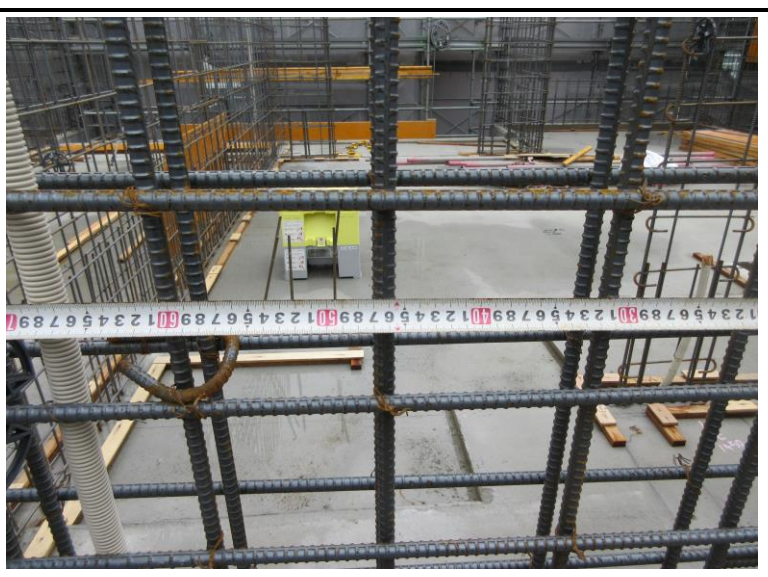
令和5年6月28日	
NO	52
場所	A Y 2 通り
部位	W 1 8 B
同上。	

令和5年6月28日	
NO	53
場所	A Y 2 通り
部位	W 1 8 B
同上。	


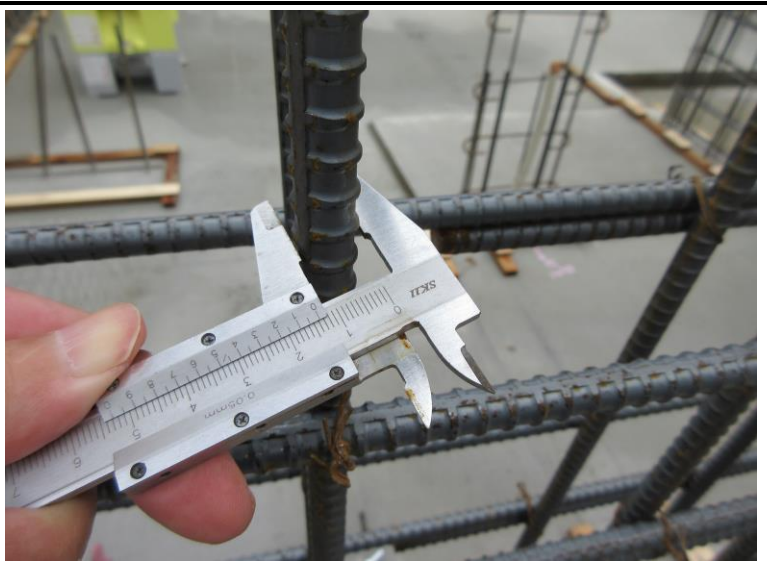



令和5年6月28日	
NO	54
場所	A Y 2 通り
部位	W 1 8 B
計画通りに配筋組（縦筋：D13@150mmダブル）が行われていることを確認。 （縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月28日	
NO	55
場所	AY 2 通り
部位	W 1 8 B
同上。	


令和5年6月28日	
NO	56
場所	AY 2 通り
部位	W 1 8 B
同上。	




令和5年6月28日	
NO	57
場所	AY 2 通り
部位	W 1 8 B
スペーサーが適切に設置されていることを確認。(外壁面側：60mmタイプ)	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月28日	
NO	58
場所	AY 2 通り
部位	W 1 8 B
壁厚さ (180mm+20mm : 外壁部分である為、外壁側は20mmの増し打ち) が計画通りであることを確認。また、鉄筋かぶり厚さ (30mm以上) が確保されることを確認。	
	



令和5年6月28日	
NO	59
場所	AY 2 通り
部位	W 1 8 B
壁端部補強筋 (4-D16) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	
	



令和5年6月28日	
NO	60
場所	AY 5 通り
部位	W 1 8
開口端部には計画通りの補強筋 (横筋 : 2-D13) が設置されていることを確認。	
	

